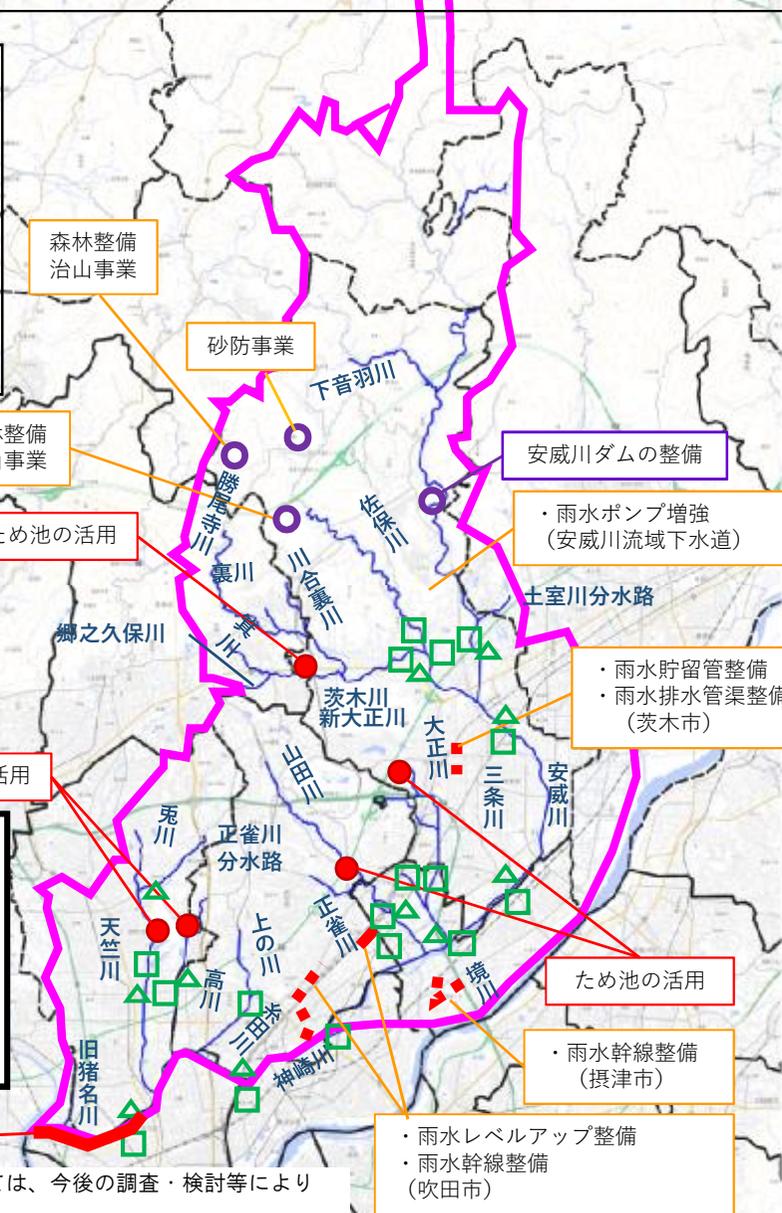


○神崎川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削等による洪水対策を実施します。旧猪名川、境川、三条川、新大正川、郷之久保川、川合裏川、裏川、土室川分水路、下音羽川、糸田川、茨木川、佐保川、勝尾寺川、上の川では当面の治水目標を達成しており、神崎川では時間雨量65ミリ程度の降雨、安威川、天竺川、兎川、高川、山田川、正雀川、正雀川分水路、大正川、箕川では時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



- 凡例
- 河道改修
 - 貯留施設（新規）
 - 貯留施設（既存）
 - ▲ 河川カメラ
 - 水位計
 - 砂防堰堤等
 - 流域界

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河床掘削、築堤【府】
- ・河道内の堆積土砂除去【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
- ・砂防事業、治山施設・森林整備・保全【府・市】
- ・雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、下水道

● 被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内における既存住宅に対する補助制度【府・市町】
- ・土地利用誘導（立地適正化計画の見直し等）等【府・市町】

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市町】
 - ・基礎調査の実施と公表と土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定【府】
 - ・ホットラインの運用（洪水・高潮・土砂）【府・市町、気象台】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（広域タイムライン）（洪水・高潮）【府・市町・民間】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（市域・町域タイムライン）（洪水・高潮・土砂）【市町】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（コミュニティタイムライン）（洪水・高潮・土砂）【市町】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
 - ・防災施設の機能に関する情報提供の充実・水害危険性の周知促進【府】
 - ・隣接市町における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市町】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施（洪水・高潮・土砂災害）【府・市町】
 - ・応急的な退避場所の確保【市町】
 - ・市町庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【府・市町】
 - ・市町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等の整備）【市町】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市町】
 - ・浸水被害軽減地区の指定【府、市町】
 - ・重要インフラの機能確保【市町】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市町】
 - ・施設管理の高度化の検討【府】
 - ・重要水防箇所の見直し及び水防資器材の確認【府、市町】
 - ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【府・市町】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- ・水害ハザードマップの改良、周知、活用（洪水・内水・土砂・高潮）【国、府、市町】
 - ・浸水実績等の周知【府、市町】
 - ・水害の記録の整理【府、市町】
 - ・災害リスクの現地表示【市町】
 - ・防災教育の推進【府、市町】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市町】
 - ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進【府、市町】
 - ・地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【市町】
 - ・水防に関する広報の充実【市町】
 - ・水防訓練の充実【国、府、市町】

神崎川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域人口200万人の命とくらしを守る流域治水の推進～

- Ⅰ 神崎川ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、「流域治水」を推進する。
- 【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河床掘削および調節池整備等に着手。
 - 【中期】 河床掘削等および調節池整備の推進。
 - 【中長期】 時間雨量50ミリ程度の降雨に対して浸水を防ぎ、かつ時間雨量65ミリに対して家屋床上浸水を発生させない対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			R4年度～ 短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	神崎川の河床掘削	大阪府	[Red bar]		
	ため池の治水活用	大阪府・吹田市・茨木市・民間	[Red bar]		
	砂防施設の保全	大阪府	[Red bar with text: 定期点検による継続監視及び状況により適宜実施]		
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	[Red bar]		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・豊中市・吹田市・茨木市・高槻市・箕面市	[Yellow bar]		
	土地利用誘導（立地適正化計画の見直し等）等	豊中市・吹田市・摂津市・茨木市・高槻市・箕面市	[Yellow bar]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・大阪市・豊中市・吹田市・摂津市・茨木市・高槻市・箕面市・豊能町・気象台	[Green bar with text: 洪水浸水想定区域指定 拡大完了 (R6年度)]		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・大阪市・豊中市・吹田市・摂津市・茨木市・高槻市・箕面市・豊能町	[Green bar with text: 雨水出水浸水想定区域図 作成・公表 (R7年度)]		

河川整備等による効果

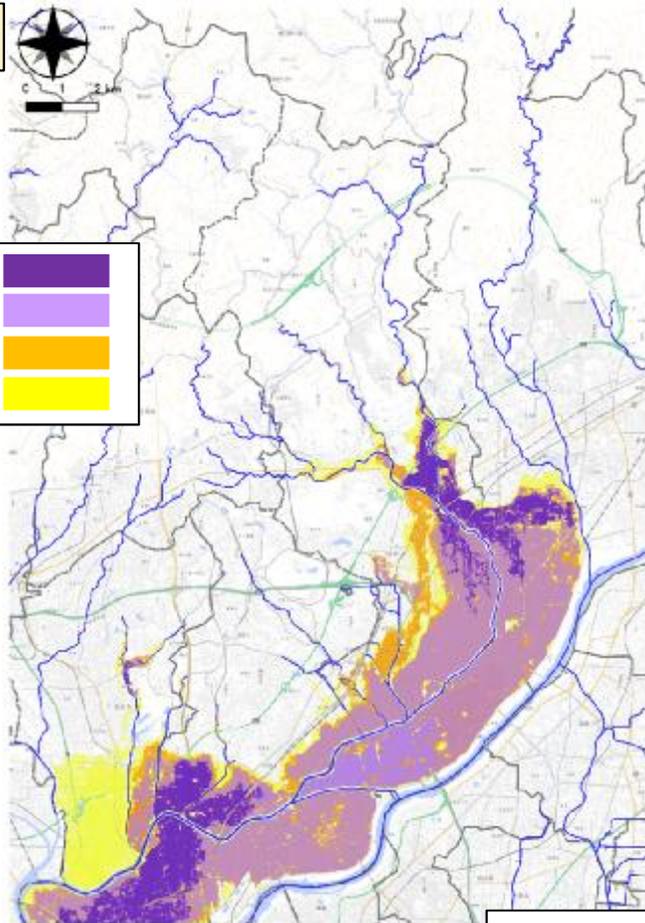
河道掘削や新規調節池の整備のほか、既存調節池やため池の活用の推進により、

神崎川：時間雨量65ミリ程度（1/40）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

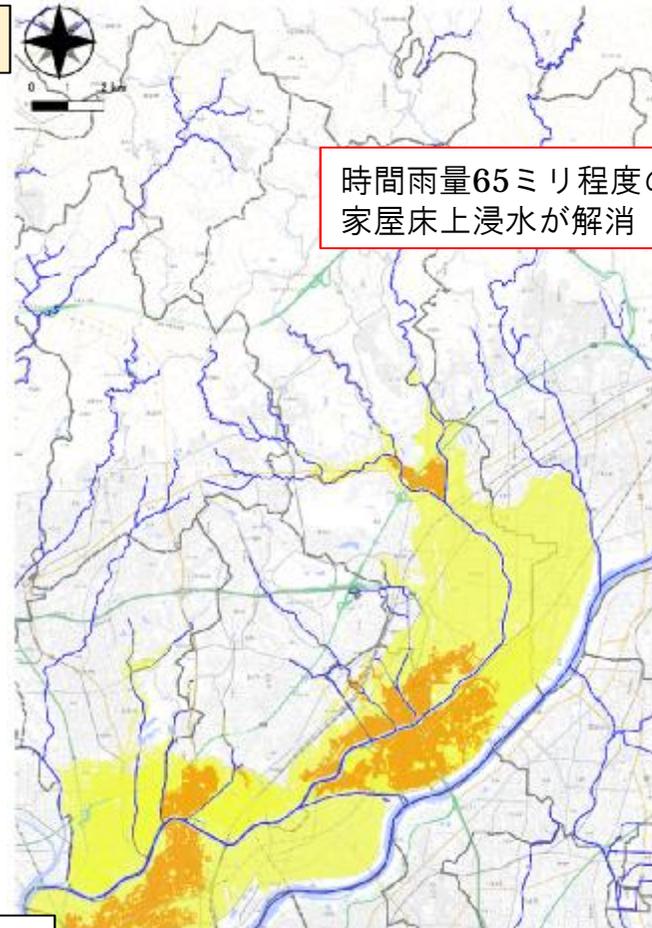
安威川、天竺川、兎川、高川、山田川、正雀川、正雀川分水路、大正川、箕川：

時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

現 状



整備後



時間雨量65ミリ程度の降雨に対し、
家屋床上浸水が解消

「測量法に基づく国土地理院長の承認（使用）」（申請中）

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率:86%

(令和4年度末時点)

農地・農業用施設の活用



4市町

(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
15施設

(令和4年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 2箇所
土石流対策 1施設

(令和4年度実施)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



2市町

(令和4年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備

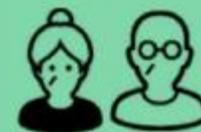


洪水浸水
想定区域 7河川

雨水出水
浸水想定区域 0団体

(令和4年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 6258施設
計画 土砂 39施設
高潮 3592施設

避難訓練 1018施設

(令和4年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河床掘削による洪水対策

神崎川では、洪水対策として、当面の治水目標を40年に1度程度発生する恐れのある降雨による洪水を安全に流下させることができるよう、河床掘削を実施。



神崎川河床掘削工事

被害対象を減少させるための対策

吹田市の立地適正化計画策定の取組

吹田市では、令和4年3月に立地適正化計画を変更するとともに、防災指針を定め防災・減災対策を計画的に実施することとしている。

居住誘導区域については、土砂災害に関する区域に限り、居住誘導区域に含めないものとし、その他の災害ハザードエリアについては、防災指針の取組を推進することにより、減災を図ることを前提に、居住誘導区域に含める。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災・減災の取組

摂津市では、防災ブックを作成し全戸配布するとともに、まちごとまるごとハザードマップ看板設置、マンホールトイレ・かまどベンチの設置など、災害時の避難行動につながるよう取り組んでいる。



防災マップ

まちごとまるごと
ハザードマップ



大阪モノレール 南摂津駅